

採点基準 化学

- (あ)用語はひらがなで書いてあっても減点しない。漢字の間違いは不可。
 (い)数値の表記に関して、例えば 3.5×10^{-1} は0.35、 35×10^{-2} など同値であるものはすべて可。
 (う)有効数字指定問題において、指定桁数未満は不可。
 指定桁数を超える場合、四捨五入して解答例と合致する場合は、1点減点。
 (え)有機化合物の構造式は共通の基準に合わせて採点する。

I 配点 20点				
問1	設問1	4点	1点×4	それぞれ解答の数値通り。 空所補充のため余分な語(重複)をつけている場合は不可。
	設問2	4点	1点×4	それぞれ解答の通り。ひらがなも可。 空所補充のため余分な語(重複)をつけている場合は不可。 「第1イオン化エネルギー」も可
	設問3	1点	完答	解答の通り。
	設問4	2点		価電子について、LiはL殻、NaはM殻にあることが書かれていて+1点。 「Liの価電子のほう原子核に強くひきつけられている」または「原子核と価電子の静電気力が強い」が書かれていて+1点。 指定の語句が一つでも抜けている場合は不可。
	設問5	2点		最外殻電子間距離が $F < Cl$ が書けていて+1点。 電子間の電気的反発力がFの方が大きいことが書かれていて+1点。 指定の語句が含まれていない場合は不可。
問2	設問1	1点		解答と同等であれば可。化学反応式中の化学式はIUPAC法に基づき解答の表記以外は不可。
	設問2	2点		解答の数値通り。単位が無くて可。
	設問3	2点		解答の数値通り。単位が無くて可。
	設問4	2点		解答の数値通り。単位が無くて可。
II 配点 20点				
	設問1	3点		解答の数値通り。単位を書いている場合は-1点。
	設問2	4点	2点×2	解答の通り。イ、エと()が無くて可。誤答1つに対して加点から-2点。
	設問3	3点		解答の数値通り。単位が無くて可。
	設問4	3点		解答の数値通り。単位が無くて可。
	設問5	4点		解答の数値通り。単位が無くて可。
	設問6	3点		解答の数値通り。単位が無くて可。
III 配点 20点				
問1	設問1	2点	1点×2	それぞれ解答の通り。ひらがなも可。漢字の誤字は不可。
	設問2	3点		解答の数値通り。単位が無くて可。
	設問3	4点		解答の数値通り。単位が無くて可。
問2	設問1	3点	1点×3	それぞれ解答の通り。Cなど()が無くて可。
	設問2	4点	2点×2	解答の数値通り。(i)は単位が無くて可。(ii)は単位をつけた場合は-1点。
	設問3	4点	2点×2	解答の数値通り。単位が無くて可。
IV 配点 20点				
問1	設問1	2点		解答の通り。分子式なのでアルファベットの順番は問わない。
	設問2	2点	1点×2	それぞれ解答の通り。ひらがなも可。 E:ジメチルケトン, プロパン-2-オンも可。 G:エタナル, エチルアルデヒドも可。
	設問3	3点	1点×3	それぞれ解答の通り。1点配点のため、構造が特定できれば可。ただし炭素間二重結合C=Cの表記抜けは不可。
	設問4	2点		解答の通り。黒塗りおよび縞模様のくさび型を用いていない表記は不可。 不斉炭素原子の印をつけている場合は-1点。
問2	設問1	1点		解答の通り。エチルアルコールも可。
	設問2	2点	組成式1点 分子量1点	組成式:解答の通り。組成式なのでアルファベットの順番は問わない。 分子量:解答の数値通り。整数値でない場合は不可。
	設問3	6点	2点×3	解答の通り。構造式なので共通の基準に従う。不斉炭素原子の抜けは他の例に反する部分と合わせてJ, K, Mからそれぞれ-1点。
	設問4	2点		解答の通り。構造式なので共通の基準に従う。不斉炭素原子の抜けは他の例に反する部分と合わせて全体から-1点。
V 配点 20点				
	設問1	4点	1点×4	それぞれ解答の通り。ひらがなも可。
	設問2	4点	2点×2	それぞれ解答の通り。ひらがなも可。
	設問3	4点		解答の通り。五と漢数字で答えても可。「個」や「つ」をつけても可。
	設問4	3点		解答の通り。名称の硫化鉛(II)と書いた場合は-1点。硫化鉛とPbの酸化数を併記していない場合は不可。
	設問5	5点		解答の通り。 ・(N末端)と(C末端)を書いていなくても可。 ・アミノ酸の間のハイボン(-)がない場合は-1点。 ・(C末端)Cys-Gly-Gly-Lys-Tyr(N末端)と逆に書いてある場合は、(C末端)および(N末端)が表記されていれば-2点。アミノ酸の間のハイボン(-)がない場合はさらに-1点。